

主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本事項	計画コード	事業名		部名	産業建設部
	17024	橋梁耐震化補強事業		課名	土木課 施設整備G
	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上		財務科目	01:一般会計
	基本施策	06:安全・安心なまちづくりの推進			08:土木費
	施策の方向	04:災害に強いまちづくりの推進			02:道路橋梁費
	戦略プロジェクト	02:「安全力ジャンプアップ」プロジェクト			07:橋梁整備費
事業予定期間	H 16 ~ R - 年度	主な根拠法令要綱等	道路法・道路構造令・道路橋示方書		

目的・概要	対象	市民、道路利用者
	目的	発生が懸念される南海トラフ地震等の地震災害の発生に備え、市が管理する橋梁を対象とした耐震補強を行い、市民及び道路利用者の安心・安全を確保する。
概要		平成23年度に策定した橋梁耐震化補強事業計画に基づき、橋梁の耐震補強工事を計画的に実施する。

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
年度計画	耐震設計	・牛谷橋	耐震設計	・羽若橋	
	耐震補強工事	・星田橋 ・西畑橋 ・前田橋 ・牛谷橋		耐震補強工事	・羽若橋
年度実績	○耐震設計	・牛谷橋			
	○耐震工事	・星田橋 ・西畑橋 ・前田橋 ・牛谷橋			
事業の計画・実績	計画額	事業費	45,000千円	7,000千円	12,000千円
		国庫支出金	24,750千円	3,850千円	6,600千円
		県支出金			
		地方債	18,200千円	2,800千円	4,800千円
		その他			
		一般財源	2,050千円	350千円	600千円
	事業費	事業費	53,807千円		
		国庫支出金	29,594千円		
		県支出金			
		地方債	21,700千円		
		その他			
		一般財源	2,513千円	0千円	0千円
	決算額	事業費	53,723千円		
		国庫支出金	29,547千円		
		県支出金	21,700千円		
地方債					
その他					
一般財源		2,476千円	0千円	0千円	
人件費	総人件費	6,279千円	0千円	0千円	
	一般職員	6,279千円	0千円	0千円	
	所要人員	0.80			
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円	
総コスト(+)		60,002千円	0千円	0千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

			令和元年度	令和2年度	令和3年度
指標	名称	耐震補強済み橋梁数(累計)	計画値	28	29
		耐震補強工事が完了した橋梁数	実績値	28	
			単位	橋	橋
	名称		計画値		
			実績値		
			単位		
	名称		計画値		
			実績値		
			単位		

事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 工事施工の協議に時間を要する事もあるため前年度に施工協議を完了しておく。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 工事施工の前年度に協議を進めることで計画どおり工事発注が可能となり単年度完成を図った。

		評価	(判定)
事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 令和元年度も交付金の配分額が要望額に満たなかったものの、他事業との事業間調整を行い、完成に努めた。 設計委託については計画どおり発注する事が出来、また、工事については計画以上の事業進捗を図った。	B まずまず実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 牛谷橋の設計委託については計画どおりの発注を行うことが出来、事業進捗が図れた。 工事については星田橋の耐震補強を行い、計画通り完成することができた。また、入札差金により、交付金の有効活用として早期着手を図ることから令和2年度に計画していた西畑橋、前田橋、牛谷橋の耐震補強工事を行い、災害時における市民及び道路利用者の安全確保に繋がった。	B まずまず成果を得た

今後の対応方針	課題	【課題は何か】 橋梁の耐震補強工事については河川や道路を渡河していることが多く、工事の実施においては関係する管理者の管理上の都合から施工時期や工法の制限を受ける施工となる。また、施工前の協議に時間を要することもあり、単年度で工事まで完了することが難しいため、計画的な進捗を図る必要がある。耐震化は事業費が膨大にかかることから、財源を国の交付金に委ねており、平準化した財源確保が課題である。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 [その他の場合、その内容を記載]
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 今後も工事施工の前年度に施工協議を完了し、計画的な進捗を図る。龜山市国土強靱化地域計画に橋梁耐震化事業を道路の保全・整備の施策指針と位置付けて、総合的かつ計画的に推進していることを内外に発信して、財源確保に努めていく。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 前年度に協議を完了すること、財源確保に努めることで計画どおり工事発注が可能となり、単年度完成が図られる。	
対応時期		工事施工前年度	

【1次評価者】	産業建設部 土木課 施設整備グループリーダー 村田 和隆
【最終評価者】	産業建設部 土木課長 宮崎 伸二

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	A	B	B		
	成果	A	B	B		

令和元年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		53,807 千円
内訳	平成30年度からの繰越額	26,762 千円
	令和元年度の最終予算額	40,955 千円
	令和2年度への繰越額	13,910 千円